

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-47)、
廃棄物管理施設(23)、MOX燃料加工施設(2-17))」

2. 日時：令和5年3月27日(月) 10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審
査官、上出安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、
清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他13名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ

グループマネージャー

北海道電力株式会社 原子力事業統括部

原子燃料サイクルグループリーダー

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

「至近の対応スケジュール」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年
12月26日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可
申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年2月27日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	よくわかりました。
0:00:02	規制庁清水です。それでは、ただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは、令和4年12月26日と令和5年2月28日に申請があった。
0:00:14	最初に廃棄物管理MOX燃料加工施設の増設校に申請についてヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:23	まず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からタジリオオハシシミズ。
0:00:30	と遅れて、藤コサクとタカナシが参加しますとその他WEBからハバサキカミデを下フジワラタケダキシノセトガワ。
0:00:43	以上になりますとそれでは日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明の上、
0:00:50	AとC説明を開始してください。
0:01:04	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:01:07	日本原燃殿出席者紹介いたします。
0:01:11	まず事務局ですが、再処理よりサトウタカハシセガワナカハマ。
0:01:18	MOX側からタニグチイシハラカサモ。
0:01:23	参加者ですけれども、耐震関係で、トガシ、外傷全般で、エビナ、
0:01:31	申請書首関係で、スズキ、
0:01:35	あと重大事故からホリグチ、
0:01:38	タマウチ、
0:01:39	必要となります。
0:01:41	本日も確認いただきますのはですねまず最初に介護資料、そのあと資金のスケジュール、そして、重大事故の案件というような、
0:01:51	進め順番で進めていきたいと思えます。
0:01:55	それで介護資料全般につきまして、
0:01:59	説明を開始させていただきます。
0:02:09	そうしましたら会合資料の議題に沿って先日3月24日の提出の資料の中でポイントとなるところを、担当者から説明させていただきます。
0:02:21	まず、ちょっと最初のポイントは、山路です。すいません。ここi P h o n eヒアリングって誰でしたっけ。
0:02:28	開口試料のヒアリングは何をされるんでしたっけちなみに。

0:02:36	いや、日本原燃の世界です
0:02:39	と、
0:02:40	24日も何度か電話でやりとりさせていただいていたようでした桐谷団のこちらからですね、電話でのやりとりというのは事務的なやりとりしかしてないので何のことかよくわからんところあるんですけど明日会合だっというので出された資料について今日ヒアリングする意味がよくわからないんですけど、
0:03:01	はい。日本原燃の瀬賀ですはい申し訳ございません。そうしましたのか介護資料の方は、
0:03:07	こちらから特段のご説明することはございません。以上です。
0:03:12	規制庁館です。介護資料にどう書いたかとかの話ですか何か別件として注文があるならわかるんですけど、何の話でしたっけ、ちょっとよくわからなかったんでとりあえず1回止めたんですけど。
0:03:27	日本原燃の瀬川江藤ですね。私もちょっとよく考えずに移ってしまいましたけれども、ポイントとして、こういったところ
0:03:38	先日から変えてましたというアナウンスがあれば、各条文からちょっと報告いただこうかなと思っていたところでした。以上です。規制庁の鳥居です。なんで今までのヒアリングを踏まえて現実として精査して資料で会合で説明しようと思ってます。以上に説明内容あります。
0:03:57	日本原燃清ガスでございます。はい。田尻さんおっしゃる通りです。はい。規制庁、佐治です。規制庁ほかに会合資料で何か言っておきたい。
0:04:07	ないです。
0:04:08	他の語り部。
0:04:23	規制庁志水ですが、介護者に、
0:04:26	介護支援に関して規制庁は%特段よろしいでしょうか。
0:04:32	はい。
0:04:33	藤元右側もよろしければ、続いて、
0:04:37	スケジュールについてですかね説明をお願いします。
0:04:50	はい。日本原燃の瀬川です。それではスケジュールの方、決算になってしまって申し訳ございませんが、提出させたもの。
0:05:00	提出したものについて各項目ごとにご説明をさせていただければと思います。
0:05:07	まず目的はあります。

0:05:10	まだちょっとボックスから、
0:05:14	日本原燃カサモです。MOXのスケジュールですけど、衛藤南波の678のところ書いてまして、共通08-02の
0:05:25	構造設計の説明をさせていただいたところに修正してまして、31日に提出させていただきます閉じ込め
0:05:32	いつとあと関連条文について、閉じ込め002の修正を、29日と関連する補足説明資料を31日に提出させていただいて、
0:05:43	4月の第1週でヒアリングを設定させていただきたいと考えております。日にちについてはまた調整させていただきます。以上です。
0:05:51	今日の田尻です。29日に出てくる00って何でしたっけ。
0:05:58	閉じ込めの0002で、共通08の2番の説明の中で、換気風量の説明が今現状の0002の、
0:06:08	別紙4に記載されていなかったの、それを追加記載した0002を提出させていただきます。規制庁たちですね、申請時の時点で情報体なかったものが補足された形で、00の資料として提出。
0:06:21	ということがあって、それで29と31に両方引っかかるんですけど、これは何か二段階で出てくるんですか。
0:06:29	それで、ちょっと個別補足を個別のスケジュールまでお出ししてなくて、詳細が見えなくて申し訳ないんですけど、29日20002で別紙4に、
0:06:39	追加したもの、あと31日で閉じ込めの01閉じ込め-02っていう、別紙4を補足する補足説明資料を出させていただきます。
0:06:50	規制庁田尻です。なんで0029に出てきて31でそのさらなる補足の別の補足が出てきて、その次の週ぐらいにヒアリングということですね助教わかりました。
0:07:01	はい。以上です。
0:07:05	規制庁シミズ本件に関して規制庁側からご確認ございますでしょうか。
0:07:15	よろしければ、あと続いて原燃側から説明をお願いします。
0:07:23	はい。日本原燃の瀬川です。続いて類型分類構造、設備構造についてでございます。
0:07:30	先週の金曜日にですねナンバー12のところをですね飛来物防護ネット等、防護板以外の対共通十二分についてのリスクのところを、

0:07:43	口頭でちょっと宣言させていただいておりましたんで、すみません本日の資料を見てもですね、4月、来週以降のですね具体的なスケジュールがまだ見えない形になってまして、
0:07:55	これ早急にちょっと是正したいというふうには考えております。現状ですね状況をお伝えしますと、やはりちょっと対象となっていた設備が外部衝撃の設備で、屋外設備が主だということもあってですね、
0:08:11	作業者がすごく集中してしまっていたと言うのがちょっと問題としてございます。そういったところがあって、なかなか防火ネット等に着手できなかったというのが実態としてございました。
0:08:25	それでいいのかということそれはよくなくてちゃんとみんなで分担してやるのが筋ではございますので、どこの範囲を条文担当がやりど、どこの範囲を施設課がやるんだといったところですね、
0:08:39	しっかり整理してですね、もう1回作業工程組み立てたいと考えてございます。
0:08:45	どっちもちょっと今まで共通中に、0から1生み出すような仕事ずっとやってたところもあって、処分担当とちょっと施設課がですね、
0:08:54	もう一緒になりながら全力で防護版に取りかかってたといったところがあったので、そこを少し交通整理してですね、分担して、並行して作業を進めるように、作業を今一度計画立てたいと考えてございます。
0:09:07	です、すみません本日時点ですでですね、具体的に第1種の何日にどういうものをといったところをちょっと提示できるような状況にございませんので、また改めてスケジュール組んでですね報告させていただければと考えてございます。以上です。
0:09:24	はい。規制庁吉見です。どう。
0:09:27	本件について規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:09:32	規制庁の田尻です。大きくまず2点なんですけど、
0:09:36	明日会合で飛来物防護板の話聞くんだと思ってるんですけどその次の日にあるヒアリングで飛来物防護板釜田いるのは何でしたっけ。
0:09:53	はい。日本原燃の蝦名です。
0:09:56	水曜日のヒアリングなんですけども、金曜日にですね、先週の金曜日に提出させていただいた共通12のですね、
0:10:06	中身をヒアリングさせていただければというふうには考えてございます。以上です。

0:10:12	規制庁の田尻ですけど、その共通 12 の飛来物防護板に関連するものは、会合資料にくっついてるという認識だったんですけどそうじゃないんですけどしたっけ。
0:10:24	はい。日本原燃の蝦名です。はい。介護資料の方には、つけさしていただいています。
0:10:32	規制庁谷です。また元の質問に戻って恐縮なんですけど、明日会合をやって明後日にヒアリングっていうのは、何を分類してやろうとするんですけどしたっけ。
0:10:45	日本原燃の瀬川です。構造説明の肝となる内容というよりはですね、共通 12 の資料としてしっかり仕上げていかなきゃいけないところもまだ、
0:10:56	資料として仕上げていかなきゃいけない部分が残っておりますし、向後移転を起点に、同じような整理を他の設備も展開して参りますので、その方向性は
0:11:07	引き続き、説明させていただかなきゃいけないかなという認識でございました。以上です。
0:11:12	規制庁の谷です。今いきなりをやられたいかわかんないんですけどそれは 10 番に書いてある共通 12 のコメント対応方針とはまた違う内容なんですか。
0:11:24	日本原燃の瀬川です。ありがとうございます。その通りですコメント対応方針に対する対応を、防護板を例にですね、説明をしていくということでございます。以上です。
0:11:36	規制庁 2 人です。
0:11:37	であればそういう書いといていただかないと、会報であくまで審査をする場なので、会合でやった次の日に、新たに資料も出さずにヒアリングも 1 回やりたいんですみたいなスケジュールがいる時点で、意味がよくわからないので、
0:11:53	今言われてるのは、会合で防護板を例に説明する分に関しては一応今時点でもう 1 回セットにはなっているけれど、操作その他の体裁的直さななきゃいけないところっていうのはあるので、そこを受けた共通 12 のコメント対応方針っていうやつに、
0:12:07	関連づけて飛来物防護板であるとか、S N の共通 12 とかを使いながら説明したいんですけどのが 29 日ですか。

0:12:16	はい。日本原燃の瀬川です。今川尻さんに提示いただいた通りでございます。以上です。
0:12:22	規制庁田井です以前からお伝えしてるんですけど何か会合は開放用みたいな形でヒアリングで別途やるんですみたいな雰囲気を出されると、こちらとしても位置付けよくわからなくなって
0:12:34	ヒアリングで話を聞くっていう自体がおかしいな位置付けになってきそうな気がするので、会合とヒアリングのそれぞれの位置付けというのをしっかり認識した上で対応いただければと思うんでよろしくをお願いします。
0:12:48	はい。日本原燃の瀬川です。はい。気をつけます。
0:12:52	規制庁田尻です。もう2一定って言ったら共通でのコメン等の位置付けだったんですけど今聞いたので大体わかったんですけど。
0:13:00	認識で確認しておきたいんですけど、今後もこのなんか2、3日でヒアリングみたいなやつをずっと続けるイメージなんですかね限定。
0:13:13	日本へのセガワです。イレギュラーな対応をさせていただいてるのは認識はしてございます。
0:13:21	うん。
0:13:24	そうですね。いやもういずれにしてもやはり
0:13:27	戦略立てたスケジュールが引けてないところに、
0:13:31	起因してると思うので、しっかり通常状態に戻せるように、しっかり、
0:13:38	引き続き検討していきたいと思えます。以上です。はい。規制庁谷です。開放までを考えながらっていうんだったら開校までのスケジュールをこの1週2週34週とかっていうざっくりしたもんじゃなくちゃんと示していただかないとこちらとしても受けづらいところだと思いますので、
0:13:56	何でこういうスケジュールなのかっていうのがわかるような形で出していただければと思うんでよろしくをお願いします。自分からは以上です。
0:14:06	規制庁、清水です。他等、規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:14:15	どうい。
0:14:16	よろしければ続いて次の説明原岩からお願いします。
0:14:23	はい、土橋でございます。耐震関係でございますが、まず地盤モデル関係といたしまして前回お出しした資料に関しましては資料の提出の方が

	2週目という形になってございますけれども、こちらの方に関しましては1週目という形に直してございます。
0:14:40	あとこちらの方で提示する内容に関しましては前回少し朝のヒアリング際にですね私の方から岩盤のみというような話の方さしていただきましたけれども、その
0:14:50	趣旨をとらまえてですね今回といたしましてはその名の改定するものにつきましては、今回の会合でお示ししているのが4グループになってございますけれども、残りの8グループに関しましての、
0:15:02	結果の方をですね、4月7日の日にですね提出させていただきたいというふうに思って、
0:15:07	耐震関係としましては、
0:15:14	規制庁シミズです。ただいまのついて、本件について規制庁側から確認でございますでしょうか。
0:15:23	規制庁カミデです。地盤モデルはそんな進め方ではと思いますが、それ以外何も。
0:15:34	お話なかったですけど耐震テーマ、
0:15:37	どういう認識なんですか、今。
0:15:40	どうのスケジュールで進めていけばいいといいと思っているとか、その辺認識を説明してもらえますか。
0:15:50	日本インター大橋でございます。申し上げません先ほど地盤モデルだけの説明になっておりましたが、基本的に耐震関係といたしましては4月の第1週目のところにですね詳細の方のスケジュール関係の方で落としているものもございまして、
0:16:05	基本的にまず、
0:16:08	今、整理の方を進めております。0。
0:16:11	よろしいですかね。耐震。
0:16:13	-01関係のものを4月の1週目の方にお出しして、その全体を追っていったところの御説明のほうを実施するといったところを考えております。そちらの方に合わせまして、これまで資料の方で修正版の方でさせていただいておりませんでした。
0:16:29	共通の実施、地震のゼロイチ関係の方もですね、同じ日に出させていただきますましてその全体像のお話といったところをですね、進めさせていただきたいというふうに思ってございます。説明以上でございます。

0:16:45	はい。規制庁深見です。01 を出発点にというところで、4月に出てくるということでわかりました。先週、
0:16:56	01 どんなふうにとまとめるかと。特にその01の3ポツのところの、目次をまた認識確認した方がいいですね。
0:17:07	と言って、そうですねって言ってもらったと思うんですけど、それは多分、
0:17:12	今日ぐらいに話をしますみたいな。
0:17:15	感じで、先週のヒアリングではあったと思うんですけど、今日は何も降りずにということにとりあえず行くかっていう感じですか。
0:17:25	日本原燃富樫でございます。もうちょっとそちらの方も私、説明の方、しておりませんで申し上げますとそちらの方今、目次案の方検討の方進めている状況でございません。はい。
0:17:36	すいません。規制庁亀井です。もういいんで、
0:17:40	4月の、ちゃんと介護で何をするか、その地盤モデルだけじゃなくて会合で何をするかというところをちゃんと固めた上で1週目何する2週目なりするなんなら3月だって、
0:17:53	3月も終わりですけど、その4月で会合を見据えた具体のスケジュールというのをちゃんと組んでください。
0:18:02	そもそも今、1ポツが1週目で終わるってなってますけど、
0:18:07	詳細スケジュールを見ると、2週にも3週にも1ポツの部分が出てきたりというところで全然まともに考えたスケジュールが出てきてない。
0:18:18	思ってますからちゃんと話ができるもので整理をして、またお話をしてください。今日のところはもうこれ以上話をしてもしょうがないと思ってますので、私の方から以上です。
0:18:35	はい、そうでございますそちらの方の会合、4月の会合に向けてスケジュールの方しっかりと返答して提示させていただきたいと思います。
0:18:49	規制庁清水です。他等、規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:18:56	等、耐震関係についてよろしければ、続いて原電側から説明をお願いします。
0:19:05	はい。日本原燃の篠崎でございます。溢水薬品関係見ます。
0:19:10	先週金曜日にヒアリングしていただきましたので、その内容も踏まえてコメントに対する対応方針の方をまた更新して参ります。

0:19:20	その中で特に1ポツの範囲でしっかり対応方針を固めていかなきゃいけないところは、対応方針のリストを活用してですね、明確にしていきたいと思っています。
0:19:32	はい同じく金曜日に
0:19:35	またコメントに対応。
0:19:37	に対する対応方針の一部、衛藤資料を提出させていただいておりますので、
0:19:42	30日に衛藤お時間いただいてねその場で説明さしあげたいと思っています。
0:19:47	またSAとの関連、正常分として、溢水条文何を引き渡して一斉条文でどう展開するのかといったところ。
0:19:56	ヒアリングでもご指摘いただいた通り、ちょっと出遅れてはいるんですけども、まず連携密に図りまして、今週の中盤辺りですね、予定通り、
0:20:08	溢水としてどう展開するかといった資料を出すことを目標にちょっと今作業を進めさせていただきます。
0:20:14	慶長の
0:20:18	資料の確認時間とれるかどうかといったところにもよりますのでちょっとそこはご相談事項になりますが、
0:20:24	30日に、先ほど言いましたヒアリングも予定してございますので、そこに乗れるようであればそこで、無理であればまた別途ですねヒアリングの方調整設定させていただきたいと思っています。
0:20:38	はい、磯谷金城でございます。
0:20:41	はい。規制庁清水です。
0:20:43	藤医師薬品関係は今
0:20:47	設計とか評価に影響出るかもしれないものは早めに方針を確認しようということでコメントリストの表だけじゃちょっと、
0:20:56	説明不十分なものは別紙をつけて、ヒアリングで事実確認をしているところですが、市のヒアリング、別紙についてヒアリングをしてもコメントついて、コメントがついてさらに
0:21:10	再精査して説明しますとかそういったものとか、

0:21:14	割と1度コメントがついたものについての今後の対応っていうのがちょっとわからなくなってるので、次そのコメントリストを提出させる際には、
0:21:25	もう、
0:21:27	一度ヒアリングあったものについての今後の対応もちゃんとわかるようにいつ何を示すのかっていうのを、
0:21:34	示してもらいたいと思います。ちょっと4月の会合に向けて何を説明するのかっていうところで、
0:21:42	ちょっとすべて中途半端になって向かえないように、優先順位つけて、スケジュール示していただければと思うのでよろしくお願いします。
0:21:54	はい。日本原燃塩崎で承知いたしました。今のはコメント、今のご指摘に対しては、コメント対応方針のリストの中で、
0:22:05	枝番つきですね、1度説明したんだけど、さらにコメントをもらったものについては、その場で、そこにリストで表現してるつもりなんですけれども、
0:22:15	曜日、ヒアリングしていただいたようにちょっとわかりづらいところもございますので、ちょっとその辺は改善を図って参ります。
0:22:23	よろしくお願いします。
0:22:27	ドッカー規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:22:35	遠い。よろしければ元側から次の説明をお願いします。
0:22:41	はい。日本原燃の堀口です。
0:22:43	重大事故に関して説明いたします。
0:22:46	8号取り込みの部分に関しては、精神の木曜日のヒアリングで、
0:22:52	36条展開やDBSAの書き分け運用面での反映事項があるなど様々なコメントをいただきました。はい。に関してちょっと作業見積もりをちょっとまだ立てられていないので、
0:23:04	スケジュールに関してはちょっと、
0:23:07	ちょっと見積もりを見た上でそれで改めて資金のスケジュールと詳細スケジュールの方に落とし込み作業を行います。そしてそれでヒアリングの予定も組み立てて、
0:23:19	ご説明したいと考えております。十時17に関しましては今日この日朝ヒアリングが終わってから、説明させていただきましてそれで資料の
0:23:29	方向性だとか、構成に関してこういったところに、

0:23:33	問題点があるのかというちょっとご指摘を踏まえて、今後の予定を組み立てていこうと考えております。
0:23:40	はい。説明は以上です。
0:23:44	規制庁志水です。ただいまの説明に関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:23:54	議長の藤原です。
0:23:57	00 資料の 8 号取込についてまだ見積もりができてなくて資料定数が、
0:24:03	まだ未定だということなんですけど、見積もりできるのがいつぐらいと かっていうのは、いただけますか。
0:24:11	いつ、教えていただけるか。
0:24:14	はい。日本原燃の堀口です。今日午前中のヒアリングそれで午後に各課 と調整します。
0:24:22	今日の午後ないしには連絡ができるような、と考えております。以上で す。
0:24:30	規制庁の藤村です。わかりました。
0:24:35	規制庁志水です。他は規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:24:41	よろしければ続いて原燃側から説明をお願いします。
0:24:57	はい。日本原燃都築でございます。第 2 回の設工認申請書の不備につい ては、本日の方の資料提出してませんが、今週、資料の方の作成の原 因分析の方、
0:25:09	考えまして、来週早々にですね、
0:25:13	提示して、ヒアリングを進めていきたいというふうに思っております。 以上です。
0:25:21	はい。
0:25:24	コサクですけど来週早々に、
0:25:29	何が出せるのかというか、
0:25:33	どんな状況のものとして出そうとしてるのか。
0:25:36	かわからないんですけど、
0:25:38	どんな感じなんですか。
0:25:42	日本原燃鈴木です。うちの品証から言われたと、規制庁と。
0:25:50	言われている。
0:25:51	池通のところですね、そちらについて、今、作りを始めています。

0:25:57	それについてでき上がり次第ですね社内調整として、提示をしていききたいなというふうに思っています。
0:26:06	ごめんなさい、古作ですけど。
0:26:09	聞いている趣旨はですね。
0:26:11	またその意向から全面的に、
0:26:15	分析が足りないと言われるような資料を事前に我々が見て何の意味があるんだと。
0:26:22	ということなんですけどどういうつもりですか。
0:26:28	はい。日本原燃する技術、楨社内で作ったやつをですね、機構の方に1回、
0:26:36	途中経過を踏まえて説明をしてですね、コメント等あればそれを反映して、大学出せるようなものに、
0:26:44	であれば、順次ですね、出していきたいというふうに思ってます。
0:26:47	以上で、
0:26:51	規制庁コサクですけど、であればってというのが、
0:26:54	来週早々といえる。
0:26:58	のはなぜですか。
0:27:05	はい。日本原燃鈴木です。
0:27:08	そうですねちょっとまだ作業を始めてる。
0:27:12	ばかりなのでちょっと物力はまだ出てないですけども、そういうスケジュールで進めていきたいなとちょっと思っていたところでございます。
0:27:19	以上です。
0:27:22	古作です。
0:27:26	そもそもの作業でいうとですね、
0:27:31	1月中2、
0:27:34	もうピコまで終わり。
0:27:36	対策もう、
0:27:38	着手し、2月中には対策も終わってこういうふうにしていくようになりました、できてます。
0:27:45	申請書も全部見直しするようになってます。
0:27:49	補正もその意味ではできるんですけど、
0:27:52	ヒアリングを進めているから補正今やってもしょうがないと思うので、
0:27:58	補正は今後のヒアリングを踏まえた直しも入れた状態で出しますと。

0:28:02	いうことを2月中ぐらいに言われるのかなと思っていたので、
0:28:07	そう考えれば、1週間でできる範疇のものとは思いますが、
0:28:15	そうできなかった人たちでの作業なので、それが1週間でできると言われても、
0:28:21	どんなレベルのものなのかなというところがわからないので、いずれにしても、ピコッと話をされて、原燃としてそれなりの分析になり、
0:28:32	対策立案になっていると。
0:28:35	いう判断ができる状態のもので出していただければいいかなというふうに、現時点では思っています。
0:28:42	ちょっと
0:28:43	12週間経ったところでの状況を踏まえて、
0:28:48	どうなのかということはあるかと思しますのでまた、今週の動向を踏まえて状況を教えていただければと思います。
0:28:57	日本原燃都築です。作業を進めて状況の方、報告したいと思います。以上です。
0:29:06	規制庁清水です。%規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:29:13	スケジュール関係でも、はい、野木瀬川から説明はありますでしょうか。
0:29:21	はい。日本原燃事務局の中浜です。
0:29:24	はい。本今朝ヒアリングでですね、認識共有させていただきたい案件は以上となります。
0:29:31	規制庁清水です。それではスケジュールについてヒット振り返りをお願いします。
0:29:40	はい。日本原燃の瀬川です。
0:29:42	共通中に耐震両方含めてですけれども4月の会合の目標というのを見定めてしっかりスケジュール組めというのをちょっと共通的なコメントとしていただいておりますので、
0:29:55	いつもしっかりやると言いながらなかなかできておりませんが、頑張っ てやっていきたいと思えます。
0:30:01	あと、溢水につきましては、別紙等でさら米が出たものに対する対応がよくわからない管理になっているといったところをご指摘ございましたので、

0:30:12	ちょっとここ工夫してわかりやすいようなコメント管理やっていければというふうにちょっと工夫していきます。
0:30:18	あと申請書不備につきましては来週というところを目標で、こちらから申しあげましたけれども、社内の状況、適宜こういうそういった場で報告させていただきながらですね、
0:30:30	しかるべきタイミングで、弊社としてしっかり分析立案できたものを対策立案できたものを報告、改めてさせていただきたいと。
0:30:41	考えてございます。以上です。
0:30:44	規制庁の田尻です。共通 12 頭、耐震だけ言われたんですけど、4 月に会合をやるって言うてるやつは、一色ちゃんとスケジュールを組んでいただきたいと思っていて、
0:30:55	スケジュール見ると、他の項目も多分やられようとしているはずなので、であるならば当然そういったものについてもどの時点で何までを示そうとしているのかっていうのを示してもらわないと意味がないと思うのでよろしくお願いします。
0:31:11	はい。日本原燃の瀬川ですご指摘の通りでございますので、全項目ともにですね、しっかり、
0:31:18	目標を定めて、見える化していきたいと思えます。以上です。
0:31:23	コサクです。もうすでに言われてるんだと思いますけど、
0:31:28	もう今週は 3 月の末になるんですけど、4 月が日付で入ってきたいと。
0:31:37	いうのはもう 2 年前からずっと言うてるような話だと思うんですが、
0:31:42	ましてや 4 月の会合に向けて 4 月の会合は第 3 週だったりすると。
0:31:48	いう時に何をやっているんだろうっていう気が。
0:31:52	します。
0:31:55	こういった点わあ、先ほどの不適合管理のところじゃないですけど、K 架空を立てるということが身についていない組織のやってることだなというのを表してるんだと思ってます。
0:32:09	以上です。
0:32:15	はい、日本へのセガワです。返す言葉がないですが、ここはですね、こういった 4 月 1 週 23 週 4 週ってというようなこんな示し方はせずですね、
0:32:27	しっかり、もう 1 週間経ったらもう前の週に 1 週間潰して、次の 1 週間具体化する、そんなやり方も含めてですね。

0:32:34	しっかり見える化して工夫をしたいと思います。以上です。
0:32:42	市長清水です。藤。
0:32:45	全体通して規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:32:51	はい。よろしければ、続いてS Aのヒアリング、個別のヒアリングに入りたいと思います。野瀬鳥羽さんご自身、お願いします。
0:33:09	はい、了解です。
0:33:13	日本原燃の方は今、当然、
0:33:17	Aさんと北海道電力さんの方が入ろうとされているところの、
0:33:21	2社で電力会社の傘下よろしいでしょうか。
0:33:24	はい。日本原燃事務局の中浜です。はい。電力さん、東電さんと、北海道さん、本社となりますのでよろしく願いいたします。はい。
0:33:36	それでは続きでS Aのヒアリングに入っていこうと思います。
0:33:42	今回ヒアリングで使用する資料は、令和5年、
0:33:46	3、3月21日になった11の資料になります。
0:33:50	それでは、
0:33:53	原画は確か、最初に尋ねると思いますが出席者の変更等はありませんですよねって一応確認しておきます。
0:34:00	はい。日本原燃事務局中浜です。はい。参加者、変更ございませんので引き続きよろしく願いいたします。はい。ありがとうございます。
0:34:09	では、資料の方に進めたいと思いますので、充実案の説明を原燃側からよろしく願いいたします。
0:34:20	はい。日本原燃のタマウチです。
0:34:23	えっとですね、令和5年3月24日付の十時17デビジョン10について説明させていただきます。
0:34:30	まず、資料の全体なんですけれども、前回提出に比べてですね、
0:34:37	前は1滴分散と、
0:34:40	環境条件の例ということで示させていただきましたが、
0:34:44	今回は悪影響防止ですとか、個数要領、そういったですね他の部分につきましても、一通り資料を入れさせていただきましたと。
0:34:53	というのが一つ大きなところの変更点です。
0:34:56	あとですね、
0:34:59	あと5ページを見ていただきたいんですけども、
0:35:05	通しで5ページですか。はい。

0:35:07	第1表第2表という構成になっておりますが、第1表が今申し上げた通り、他の項目も含めたということになります、
0:35:15	第2表は前回からの変更が現状ないという状況です。
0:35:20	まずは第1表の方ですね、表し方を固めて設計証券の書き方を固めてから、
0:35:27	第2表への展開ということで考えておりますというのが、まず現状になります。
0:35:33	はい。
0:35:34	続いてですね、資料の見方といいますか、資料の作りを変えたところについて説明をさせていただきたいと思います。
0:35:42	6ページをご覧くださいければと思います。
0:35:49	ページがですね見方の例になるんですけれども、
0:35:52	列をですね右側に1列追加しております、備考欄を二つ設けました。
0:35:59	備考欄の左側が、36条の内部で展開する解説になっております。
0:36:07	それですね36条からそのまま具体的設計として、その構想ですとか、1に繋がるような情報に行くところをですね、
0:36:16	このように右上のですね。
0:36:20	ここを見ていただきたいんですけども、四角額になってる文字があると思います。常設設備の位置的分散は解決しないというなっておりますけれども、
0:36:29	このようにですね、具体名があるところは、四角で囲ってですね、
0:36:35	共通順位ですとかそういう資料の方につなげていけるようにですね、記載をしております。
0:36:41	一方でですね一番右の列がですね、こちらが36条から他の条文に、
0:36:47	情報を渡すときにですね、使うということで、
0:36:51	整理をさせていただいたというな、まず今回の改定点。
0:36:56	ということになります。
0:36:58	はい。
0:36:59	よろしければ具体的にですね、位置的分散の方から、
0:37:04	ご説明をさせていただきたいと思います。
0:37:09	はい。そうしましたらですね、7ページをご覧くださいければと思います。

0:37:17	はい。改定前の1例として7ページのですねところでナンバー一番ということで、ここは危機的分散の共通事項が書いてあるところなので、
0:37:27	ここに関しましては具体的な設計をですね、個別設備に展開していくと。
0:37:33	ということになります。一番上に書いております共通要因で機能を損なわない設計としますと、
0:37:40	ということで、
0:37:42	具体的にどんな共通余裕を考えるかというところは、この後ろの方のですね、ナンバー2以降に書いているということになりますし、
0:37:50	えーとですね。
0:37:52	この共通要因で設備をどう設計していくかというところは、この一番のところで書いておりますように、第2章の、今今回代替安全冷却水系を例にしておりますけれども、
0:38:03	具体的な設備名をですね、
0:38:07	含めまして説明していくと。
0:38:09	ということになっております。
0:38:11	それですね、とですね。
0:38:16	はい。で、8ページ以降ですね、共通重大事故という条件をですね考えて位置的分散を図るかどうかというところで、ナンバー2番ナンバー3番ナンバー4番と、従来事項における条件ですとか、
0:38:28	自然現象における条件ですとか、人為事象における条件、
0:38:33	こういった条件を書かせていただいて、右下に、
0:38:37	いただいてですね、具体的にですね、これを個別
0:38:41	個別のですね常設設備についてはどう展開するのか。
0:38:45	可搬型時については動線から展開するのか、接続口についてはどう展開するのかっていうところを、左側の番号ですね。
0:38:52	ひもづけして、
0:38:54	説明できるように整理をしております。はい。
0:38:59	先週の
0:39:01	ヒアリングですね話題になっている溢水に関係するところとして9ページをご覧くださいと、
0:39:07	ナンバー5番ということで、周辺機器からの影響という項目が出て参りまして、

0:39:13	ここで溢水による影響を考慮する、関係品漏えいによる影響を考慮するというので、
0:39:19	常設設備についてはナンバー11番、
0:39:22	いうところに飛んでいってですね、被水の話を展開するという構造になっております。
0:39:28	これをちょっと例として説明させていただければと思います。
0:39:32	ナンバー11番がですね。
0:39:34	12ページから始まっておりますのでそちらお願いいたします。
0:39:44	はい。12ページをご覧くださいと、
0:39:48	いすへの展開が書いておまして一番上に共通方針がまずございまして、
0:39:54	溢水ですとか品の上、内の事象、厳しい設計基準より厳しい条件として、内の事象の配管の全周幅。
0:40:03	というものを考えましょうと。その具体として、溢水についての考慮を、その下のですね、後から書いております。
0:40:11	Aに関しましては、
0:40:14	位置的分散パレストか後構造ですね、高さで守るとかそういったですね。
0:40:19	具体的な配置ですとか、構造です、採用を設計方針を示しているので、
0:40:25	個別の、左なんていうんでしょう。真ん中のですね、左側の
0:40:30	列のところに、大体圧力設定の個別とかありますけれども、
0:40:34	そういうところが展開せずに前回後全体方針として、
0:40:38	真ん中の一番右側のハッチングがかかっているところで書いていくという整理にしております。
0:40:44	この中で、M I C Eについての考慮というものということで、2ポツ後からですね、情報が始まっておりますけれども、
0:40:51	S A徳山事項として赤字の部分で、所長かいつまんて解説させていただきたいと思うんですが、
0:40:58	まず溢水によって機能喪失しないというところは元述べた上で、
0:41:02	2ポツ、5ポツ1ポツ1のところ、排水を考慮する設備は何かというところで、
0:41:09	重大事故等対処設備をまとめて選定しますと。

0:41:12	いうところ。
0:41:13	があります。この選定をですね、選定結果は後でにポツポツに出て参りますけれども、その選定結果をD Pの方で考慮してですね、一斉な評価をすると。
0:41:23	いうことになります。
0:41:25	あと溢水ですね条件というところで、2ポツ、ポツ1ポツ2ポツ1というところで書いてございますけれども、
0:41:33	D Bの想定に比べて、追加となるものが赤字で、
0:41:37	1234点書いてございますけれども、内的事象の流体の、
0:41:42	植生流体を含む配管の全周破断については書いておりますように完全破断で1時間動例という体感としては、記載のありますような溶解液のようなですね、
0:41:53	日々起伏ものすべて、
0:41:55	それが直轄するが対象ですと、これ本当はもっと具体的に表とかでも展開できるんですけども、全体の送信としての記載ということで、現状このぐらいの書きぶりで整理させていただいております。
0:42:07	2点目が1.2S sを考慮しましょうということで、
0:42:10	1.2S sで、壊れてしまうものが1件になりますということ宣言するのとですね、あとスロッシングについても、1.2Sそのマージンで、
0:42:20	そういったときにですね、売れる量というものを評価して、周りへの影響を評価するということと、あと、
0:42:28	田山遮へいの水の厚さですとか、貯水槽でしたら、必要な水の量が保たれるというような評価をしていくと。
0:42:35	いうことを書かせていただいております。評価自体は、右にございますようにですね、
0:42:40	Dに引き渡してですね、
0:42:43	評価をしていくということになります。
0:42:46	アクセスルートについてがアクセスルートですとか、
0:42:51	溢水防護区画ですね、というのがその下の2ポツ、ポツ1ポツ2ポツに書かせていただいています、
0:42:57	重大事故等対処設備を置くところは水分を区画として設定しますということですね。

0:43:03	やらせていただいてこれをDB側に持っていくと、アクセスルートにつきましては、操作性の観点で溢水評価対象として、DBから溢水量をもらってですね評価をします。
0:43:13	許可対象とし、そういうことで設計条件を書かせていただいているということになります。
0:43:19	はい。あと、長くなって申し訳ないんですけど、もう1個僕ができます2ぽつポツ1ポツ3で、
0:43:25	被水評価及び防護設計方針ということで、
0:43:29	それぞれ、溢水モード、被水ですとか、防水ですとかいろいろモードがありますけれども、それに対してどのように、決議を守りますかという表はですね、
0:43:37	補足表というものを準備しましてそちらに、説明を示しております。
0:43:42	補足表がですねちょっと飛んでいって申し訳ないんですが溢水、すみません1積分3の最後のところにございまして、
0:43:48	30ページですね、通しで30をお願いします。
0:44:00	はい。
0:44:01	30ページをご覧いただくと、
0:44:04	補足表溢水に対する防護方針の概要というものがあると思うんですけども、
0:44:09	こちらにですね、左側に、
0:44:12	地震随伴による没水、被水蒸気影響、
0:44:16	あとは想定破損による、
0:44:18	没水被水両計画を行った方が使って、専門を整理した上で、右のですね。
0:44:24	越についてはですね常設SAで具体的な技術とかファイルで、
0:44:30	あとアクセスルート接続口、屋外のSA設備、
0:44:34	これは設備の項目ごとにですね、どうやって守るかということですね、概略書かせていただいた表になります。
0:44:41	すみませんちょっと1点これですね、
0:44:46	ちょっとよ、変な情報が入っていて申し訳ございません想定破損の別とかを、今日見ていただくとですね、
0:44:54	想定破損のように1.0S sと1.2S sが分かれたりしていて、

0:44:59	これ1.2S s 自体これいらないのですいませんちょっと最後は、状況として慌てて、
0:45:05	ちょっとミスがあったので慌てて張りかえてすいませんちょっと経験するの忘れてしまうっていうところがございまして、
0:45:11	すみませんまずお詫びさせてください。申し訳ございません。はい。
0:45:15	それが今の1.2S s の余分な情報っていうのが、
0:45:20	消火活動の没水ですとかヒ素とそういったところにもですね、書いてございます。
0:45:24	はい。なんでそこはちょっと、
0:45:26	後ですみません、飛んして出させていただきますが、
0:45:30	内容として1例、資産の見方としてですね、例えば、
0:45:34	地震随伴の没水、
0:45:36	に関していきますと、
0:45:38	ですね。
0:45:39	外的事象に関して、常設S A をどうやって守るかというのが、一番左上のセルに書かれておりまして、
0:45:48	1.0S s の時にはですね、この①番①番と書いてございますがこれが設計上考慮する優先順位という整理で、
0:45:55	書かせていただいております、まずは想定される水位以上、設定する設計でいきますと、
0:46:01	それができないところにつきましては、設計基準または同様のですね、常設衛星と位置的分散する設計として守ると。
0:46:10	いう方針で
0:46:12	設計をしております。1.2S s に関しましては、
0:46:15	1.2S s が出てくる溢水量に対してですね、その想定される。
0:46:20	溢水水位上へ設置するということで、機能を維持する。
0:46:25	設計にするという形で整理をしています。このようにですね、今は常設S A の外的事象に関する設計方針ですが、
0:46:34	他の設備に関しましても、整理をさせていただいて、変えていくという形になっております。
0:46:40	はい。まず市来分散で一度すみません、飛びます。
0:46:45	その辺よろしければ、説明を聞かせていただきますがこのような形で、情報整理、

0:46:49	できておりますという状況になります。
0:46:52	一旦説明を終わります。以上であります。
0:46:56	それでは、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
0:47:08	すいませんコサクです。S E 担当の人がしゃべらなそうなので、
0:47:14	場をつなぎますけど、
0:47:17	上流の木、
0:47:20	記載がどう整理されてるのか全然わかんないんですけど。
0:47:25	どういう作業になってるんでしょうか。
0:47:38	はい。日本原燃のタマウチ谷津、どういう作業かというところで回答させていただきますと、
0:47:46	36 条の、
0:47:48	設計条件が今基本設計方針で整理しておりますけれども、その設計条件に基づいて、
0:47:55	それを個別設備に展開しないと、構造が見えてこないものは、構造に展開していきたいので、四角囲いを書いていますし、
0:48:05	ゆすいですとか、竜巻のようにですね、全体として守りに行くものについては、その評価、
0:48:11	の方で、どういう状況になるのかっていうところを整理しようという意識で作業はしておりました。
0:48:19	小坂です。上流はごめんなさい。はい。今のコサクですけど、今のって、やっぱりよくわからなくなってるんですけど。
0:48:30	溢水なり何とかは全体でって言われますけど、そもそも 36 条要求としてどういう設計コンセプトでいるかの、
0:48:39	考えの内数の中で A - 1 事象でしかないと。
0:48:46	いうことだと思ってて、全体としてはどういう設計思想なんでしたかっていうのがひもづかず 2、
0:48:52	いきなり溢水の対策はこうしますみたいになっているからわからないと言っているんですけど、そこをつなぐ気はないんですか。
0:49:03	日本原燃の玉置です。
0:49:05	そういうつもりではなくてですね全体として共通要因から守りますまず全体の方針があって、
0:49:13	そこから繋いでいくように見せたかったんですが、

0:49:17	現状のスケールだとちょっとそこは見えてないということですかね。すみません。はい。
0:49:24	はい。補足です。全くもって見えないですね、タマウチさんの説明なり書いてることも繋がってるとはとても思えない。
0:49:33	ので、
0:49:37	それがその最後の表で 1.2 清掃間違っコピペで、
0:49:42	消し忘れましてってことになってんじゃないかなと思うんですけど。
0:49:47	どこから何が発生をしていて、それに対する対処方針ってどうなのかと、その具体化って何なのかっていうのをちゃんと頭、
0:49:57	整理しようとは思えなくてですね。
0:50:00	それ整理しようと思ったらその上流が左側に書いてあってその具体化が見ない、右側になっていってとなるはずなのに、単純に縦どこに飛ばしますところに飛ばしますだけで、
0:50:13	飛ばし元が何を書いているのかって何を受けたのかっていうのがわからないよって。
0:50:19	ありえないと思うんですけど。
0:50:25	はい。日本原燃タマウチです。
0:50:28	はい、すみませんちょっと整理の仕方が非常に悪くて申し訳ございません。
0:50:34	今聞いた内容でいくと例えば 30 ページでいきなりイスイモードが左側の図に出てきているんですが、
0:50:42	これってそもそもですねおっしゃる通り溢水は何かっていうと、考慮する。
0:50:47	その周辺機関の影響に対して守りましょうという方針があってさらにその上には、
0:50:53	共通要因が守りましょうという条例の送信があって、
0:50:57	そういった流れがあってここにたどり着いているはずなんですけど、そういったものがちょっと今見えてないということで理解しました。そう。そういうことでいくと、まず理解は合ってますでしょうかそういう整理の方が、見やすいと。
0:51:11	考えてます。以上です。
0:51:13	はい、古作です。

0:51:17	大枠で言うとそうなんですけど、添0を具現化するだけの認識が取れるかと。
0:51:24	いうのは非常に不安でして、
0:51:31	そうだな。
0:51:35	まず、6ページわあ、記載例ということで書かれてるんですけど、ちょっとこれで議論してもよくわからないので、これを1回飛ばさせていただいて、
0:51:46	6、7ページ。
0:51:49	から舞台に入ってる、ここの時点ですでにその考えがよくわからないので、お聞きしたいんですけど。
0:51:57	このページ最上流ですよ。
0:52:02	はい。日本原燃タマウチです。はい。その通りです7ページが最上流になります。
0:52:07	はい。コサクです。西條琉奈の2どこに展開するか書いてないのは何ですか。
0:52:17	はい、日本原燃のタマウチです。右側から2列目のところで、すべてに展開するという、非常に曖昧な書き方をしておりました。具体的に展開先を書いてなかったのは問題だと思います。以上です。
0:52:34	はい、古作です。
0:52:37	本来本来と先ほど私言ったようにちゃんと展開できてるのかっていうのをその場でぱっと見えるようにしたいのであれば、個別展開と言ったら、その展開したところの左の欄に書いて、
0:52:52	それがちゃんと受けられているのかと。
0:52:56	いうことを書いてもらった方がいいような気がするんですね。前はそこまで言わなかったんですけど、
0:53:03	とてもちゃんと受けてるように整理をしているとは思えないので、そういったところでフォーマットを作ってもらいたいと思います。で、8ページにいくと、
0:53:22	少なくともどこに、
0:53:24	飛んでいくかというマーキングはされていて、
0:53:28	いるんですけど、
0:53:33	と、これでいってるところの共通用意。
0:53:37	のうち重大事故等における条件って、

0:53:41	何ぞやというのは、
0:53:44	どこで具体化されるかっていうと、鳥羽笹木の七、八とかでなっちゃうってことですか。
0:53:58	はい。日本原燃のタマウチです。
0:54:01	重大事故等における条件については、まず大枠は真ん中で温度圧力、放射線ですとかそういった、
0:54:09	不明で、
0:54:11	その条件自体は、
0:54:15	環境条件の方ですね、具体値が出てくるという整理になってますねはい。以上です。
0:54:25	古作です。
0:54:27	それがよくわからなくてですね。
0:54:33	これわあ、
0:54:42	重大事故等の要因って何だというのは、最上流でうたってたはずなんですけど、
0:54:51	そこからは出てこないんです。
0:55:06	はい。日本原燃のタマウチです。
0:55:09	最上流のところではですね重大事故等における条件というところで、
0:55:16	今書かせていただいているだけでちょっと対合わせなかったですねはい。
0:55:26	コサクですけど、そういったところがちゃんと上流から来てないからおもむろに 1.2 S s が出てきちゃったり、
0:55:36	全周破断が出てきちゃったりということで、個別の七、八とかっていうところに行っていきなり出てくるみたいに見えちゃうんだと思うんですね。
0:55:46	少なくとも、先ほどの 7 ページの一番上のところ、
0:55:54	において、
0:55:58	事業指定を受けた設計蒸気や設計基準より厳しい条件の要因となる事象と、
0:56:06	いう表現入っているわけですよ。
0:56:10	これが何ぞやっていうのは今抜き出されてないですけど、
0:56:14	許可なりの設計方針にあるはずなんですよ。
0:56:21	ないですかね。
0:56:25	はい。日本原燃のタマウチです。

0:56:28	おっしゃる設計基準より厳しい状況は、
0:56:33	えーとですね。
0:56:35	さっき、
0:56:36	出されていて、
0:56:41	9 ページですねすみませんはい。
0:56:43	9 ページのナンバー6 番を見ていただくと、そこですね。
0:56:48	外的事象の地震火山の影響考慮、あと内的事象としては1 他の全周破断ということで書かせていただいております。はい。以上です。
0:56:58	はい。
0:56:59	補足です。で、そうすると最初のもの、
0:57:04	この部分とで、
0:57:08	実行重大事故条件というところでの共通要因と、
0:57:13	ということへの配慮というのは、展開していきますというのが上流で、その構成されていて、
0:57:20	それを踏まえて個別ってやらないと。
0:57:23	対応関係わかんないですよ。類型も整理できないんですよ。
0:57:33	はい。日本原燃のタマウチです。
0:57:36	はい。そうですね上から傘をかぶせるような感じにはちょっと今見えてないと思います。はい。以上です。
0:57:45	はい。補足です。先ほど言った呼子三崎と今野芭蕉はまた違ってるといいたし、
0:57:53	どうリンク張ってるのかも全然、ぱっと見たと。
0:57:57	本当かと思える感じなので、
0:57:59	そのあたりの作業の方針っていうのをもう少し整理をして、しっかりやらないと。
0:58:05	ヒアリングにならないのかなというふうに思います。
0:58:17	はい。日本原燃のタマウチです。
0:58:22	はい。すみません。そうですねこの考慮項目のですね、
0:58:27	繋がりというところが、今ちょっとそうですね見えにくいですし、
0:58:34	作業方針としてはですね。
0:58:37	現状、
0:58:39	例えばナンバー2 の項目でしたら、この圧力温度放射線、こういったものを考慮する項目はどこ。

0:58:45	とかですね、あと、先ほどのナンバー、
0:58:48	9ページのNo.6でしたら、
0:58:50	設計基準に厳しい条件ってのは、どこに飛ばしてると、というような感じで一応今書いているんですけども、
0:58:57	ちょっとバラバラとしていて、繋がりが非常に見えにくいので、
0:59:02	すみませんちょっと再精査させていただきたいと思います。はい。以上です。
0:59:07	はい。補足です。それです、一気に一つの表で書こうとするから多分駄目なのかなと思うんですよ。
0:59:19	No.10、
0:59:22	1で溢水って言われてましたけど、
0:59:29	と、
0:59:30	どこで切れるのかな。
0:59:36	各事象、どう考えるのかという前段のところまでで、まず一旦区切れて、
0:59:46	受再上流っていうかね、最上流ブロックがあって、
0:59:50	ここにこういうことを考えなきゃいけないんですという体系をつくると。
0:59:55	第2弾のブロックについてはその第1弾のブロック最終的に引き継がないといけないことというのをまとめたものが、第2弾ブロックの一番左に来て、
1:00:08	それをこの事象なりこの設備に展開していきますと。
1:00:12	ということになるんじゃないかなと。
1:00:17	今話を聞いているとそれぐらいで整理しないと。
1:00:21	どんどん熱が増えて、
1:00:23	何が何だかわからないっていう感じにもなっちゃうような気がする。
1:00:31	そのいくつかブロックに分けてどんな構造だったのかなっていうのを少し整理してもらえませんか。
1:00:41	はい。日本原燃のタマウチです。
1:00:44	はい。おっしゃる通りだと整理させていただきたいと思います。すみませんイメージとして最上流ブロックで、共通要因。

1:00:53	を考慮しますで共通要因、要因と何かというところで、先ほど申し上げたような、重大事故の条件ですとか自然現象とか人為事象とか周辺機器の影響とかそういった、
1:01:04	ものを考慮しますと、さらにそれは具体的に何なんですかというところで、
1:01:09	設計基準に厳しい条件であれば、
1:01:13	前柴坂東ですとか火山ですとか、そういった細かく、
1:01:18	最上流でまず考えることを整理した上で、
1:01:21	それをじゃあどのように個別に展開していくのかと。
1:01:26	いうのを二つ目のですね設計条件として書いていくと。
1:01:30	というようなイメージでとらえました。
1:01:35	とコサクですっていうのもう、許可の、
1:01:39	設計方針を整理する際にも、そういう体系をマトリックスで整理をして、
1:01:45	入れ子構造の形にして、この断面についてはこういう、
1:01:52	囲いd、同じように一通り変えていきましょうと。
1:01:56	いうことを整理したはずなので、その入れ子構造の絵の段階ごとに整理をスルーのが筋であってと思ってます。
1:02:08	12 ページ、溢水区等、それができてないからこういう状態になるっていうのがよくわかるんですけど。
1:02:16	溢水ってここの部分の溢水って言ってるのは、DBと同程度の溢水のことを言っているのではないかと。
1:02:24	思っていたんですけど、設計基準より厳しいというものまで、なぜくっつけてしまうのかと。
1:02:35	設計方針ではこれくっつけて書いていて、し、
1:02:41	上流との関係でくっつけてしまっていて説明できるんですかということなんですけど。
1:02:50	これも上流整理してからじゃないと話はないんですけど、そのあたりどうなってます。
1:03:02	はい。日本原燃タマウチです。現状の整理ですと、これDPの溢水に加えて、重大事故で考慮すべき1.2、
1:03:12	S sの地震ですとか
1:03:15	全周破断の造影ですね、そういったものを、

1:03:18	今、すべて含めて、建設を確保する設計という上流にしておりましたので、一緒に整理しちゃっておりました。
1:03:29	はい。ちょっと上流を整理した上で、どう落とし込めるかは、
1:03:34	再整理させていただきたいと思います。現状は以上です。はい。
1:03:39	はい、古作です。判断基準を対象も何も全部ひっくるめて一緒なんだと。
1:03:46	いうことであれば分ける必要はないと思いますけど、
1:03:53	方針のところでは部分的にひっくるめて書かれてたから、まとめましたっていう。
1:03:59	ので本当にいいのかなっていう気もしますし、上流がどういう整理にしてるのかと。
1:04:04	いうことを踏まえながら、整理をしていただければと思います。少なくとも、
1:04:11	1.2 S sについては、
1:04:19	対象機器を限定をしていて、S Aでも1.2 S s数にしないものもあったりと。
1:04:28	いうことで整理をしているので、
1:04:30	まとめるというのは、いまいち、
1:04:34	設計コンセプトとしてよくわからないなど。
1:04:37	です。
1:04:44	はい。日本原燃のタマウチです。
1:04:47	はいありがとうございます判断基準ですとかおっしゃる通りですね、違うものも出て参りますので、
1:04:55	そこもすみません、踏まえた上で、潮流から発生をさせていただきたいと思いますし1.2の話もそうだと思いますので、
1:05:03	開催させていただきます。はい。以上です。
1:05:07	はい。補足です。
1:05:11	整理をした結果というところでいいんですけど、溢水のところで言うと、事象がただ、
1:05:19	12ページの2ポツ5ポツ1ポツ2ポツ1というところで、水井県の想定のパターンをただ列記していると。
1:05:29	いうことなんですけど、

1:05:31	列記してるのと、前回から言ってるところですけど、そのあとの溢水区画経路。
1:05:40	上のいす対策対象設備の選定と、
1:05:46	行った後、
1:05:48	ごめんなさい、対象設備という言い方は悪いな。防護の対象設備つつた方がいいんですかね。
1:05:54	の選定という。
1:05:57	ことについて、単純に分けて書いて本当にいいのかっていうのがそもそも問いだったのに、
1:06:03	単純にこう書いてしまったら、その関係性がわからないんですよ。
1:06:07	これ結局なあれですか、分けるつもりはないっていう方針なんですか。
1:06:21	日本原燃のタマウチです。
1:06:24	これすいません、金曜日もおっしゃっていただいたところですよ。そこはすいませんまだちょっと整理が追いついてなかったところではございますが、
1:06:33	ここは全体の関係がわかるように、
1:06:38	整理はしたいと考えておりました。はい。以上です。はい。補足です。だとすると、
1:06:45	まず、もし整理できてなくて頭の整理をしたいということであれば、
1:06:51	ここをマトリックスにするんだと思うんですね、縦軸がプロセスになっていたとすると、横軸2、1水源の想定とかですね。
1:07:02	分ける。
1:07:03	パターンを書いて、このパターンの時には溢水に対する対象設備はこれで、水源はこれで、
1:07:11	経路としてこう考えてこう評価していきますと。
1:07:15	評価基準はこうですと。
1:07:17	というようなことを書いて、また次のパターンではこうでこうでこうでと。
1:07:22	並べると、ここって一緒だよ。ここは違うよねということが出てきて、一緒のものはまとめればいいし、違うものは分けて書かなきゃいけないしと。
1:07:33	ということ整理がつくんじゃないかなと思ってます。
1:07:45	はい。日本原燃のタマウチです。

1:07:48	はい。ありがとうございます。川がですね、
1:07:53	説明できるほどに今ちょっとついていないところがあるので、すみせんちょっと再整理した上で、
1:08:00	書かせていただきたいと思います。以上です。
1:08:04	はい、古作ですよろしくお願ひします。で、今の、ここは一緒一緒じゃないっていったところが、
1:08:11	1.0 S s での水源での評価と 1.2 S s - N1 水源の評価っていうのを、判断基準は一緒だし、
1:08:21	崩落関係にあるので 1.2 S s でまとめて評価できる場所と、
1:08:26	いうのと分ける場所というところが見えるようになってくるんじゃないかと。
1:08:30	思ってお話をしています。
1:08:34	その点でちょっと、
1:08:36	具体でよくわからないのがですね 2.5. 1.2. 1、
1:08:42	-1 水源のところの下二つのポツ。
1:08:47	これ何で分かれてるんですか。
1:08:59	はい。日本原燃のタマウチです。
1:09:01	現象自体は、スロッシングなので、項目としては一緒でもいいのかもしれないんですけども、設備がプール等一応貯水槽というところで、プールは臨界、
1:09:16	すみせん遮へいですね、遮へいの水の厚さというのもありますし、評価項目が多いので、今分けて整理しておりましたということになります。以上です。
1:09:28	コサクですけど、それはどこの何で評価すべきことですか。
1:09:38	はい。日本原燃のタマウチです。現状の整理、ご説明させていただくと。
1:09:44	こちらの溢水量の評価は、整理、説明させていただくと。
1:09:49	こちらの D の溢水のところで評価をしてですね、その結果を D B の溢水の説明書の中で記載するという今整理をしておりました。
1:10:00	はい。
1:10:01	以上です。
1:10:02	コサクですけどちょっと、
1:10:04	よくわかんなくて入口として、どこの要求に対する

1:10:09	評価なんですか。
1:10:10	設計方針は何ですか。
1:10:18	はい。日本原燃の町ですすみません。設計方針は、
1:10:22	まず火二つあると思っております一つ目が、溢水で、周りにある機器に悪影響を与えない、溢水から守りましょうという設計方針が一つございます。
1:10:34	もう一つが、そのプールでしたら、遮へいに十分な水を保つこと、貯水槽でしたら、
1:10:41	冷却に必要な水量を保つことという設計の方針があって、
1:10:46	浅香です。すみません、さらっと言いましたけどその二つはどこから出てくるんですか。
1:11:00	はい。日本原燃のタマウチです。二つは36条の、
1:11:07	基本方針から出てくるというふうに整理しております。
1:11:12	コサクですけど、具体的にどこに書かれていますか。
1:11:17	はい。宮村タマウチの少々お待ちくださいすみません。
1:11:39	日本原燃の瀬川です。ちょっと、DBとSAとっていうのでまたごっちゃになって考えてしまったので良くなかったのかなと思ってますが、
1:11:49	まずあのSA設備の機能を守るぞ、守りなさいねと、スロッシングからというのは、36条要求だと思ってます。棚橋が言った遮へいだとか、
1:12:01	隣家臨界の維持、そういった要求は、これはツールの条文の個別要求から来ているものになりますので、
1:12:11	ちょっと入口の整理はきちんとしなければいけないというのは認識しました。何でこんな合わせ技でやってしまったのかという事です、一方デービー側はABのこのスロッシングの時には、プール周りの安重を機能喪失させないということと、
1:12:26	プール自体が持っているアンビュウとしての遮へい機能、
1:12:30	これも機能喪失させない対象というふうにAB側が整理したのにちょっと引きずられて、規制側のちょっと似たような整理してしまっていたというのが現状でございます。以上です。
1:12:43	コサクですけど。
1:12:45	引きずられたところを、引きずられなくていいんだとただ切るのではなくて、

1:12:52	なぜ引きずって考えちゃったのかなっていうことを考えて欲しいんですけど。
1:12:57	まず隣家の方で言えば、
1:13:00	臨界事故は発生しないと。
1:13:04	いうところの考えの中に、こういう考慮事項もあったんじゃないんですか。
1:13:13	はい。日本原燃の瀬賀ですご指摘の通りですね。
1:13:17	プールの条文要求ガードのインプットになってるのがこの溢水、スロッシングによる溢水っていう評価が前提に、
1:13:28	いたといったところも、ちょっと、
1:13:32	整理が上手にできてなかった原因かと思ってます。
1:13:36	はい。補足です。なので、36条要求というのが、
1:13:42	本文8号から来る、
1:13:46	実行選定の条件というところから来るのかということをよく考えて、
1:13:55	上流としてどういうことを担保を設工認にしなきゃいけないのかと。
1:13:59	いうことを拾い上げてくるという所いう作業がまだ足りないから、こういうところでごちゃませになるんだと思います。
1:14:07	遮へいの方は、今度は作業環境ということになると、
1:14:13	思います。
1:14:14	で、作業環境としていスロッシング。
1:14:20	出た水が遮へいとして厳しい数値になっても、環境としていいんだと。
1:14:27	いうのであれば、それでの線量を、環境条件として入れればいいということですけど、
1:14:34	そのあたりをどうつなげていくのかによって、
1:14:39	遮へいに関しての評価をする必要があるのかないのか。
1:14:43	何をインプットにするのかアウトプットにするのかと。
1:14:47	いうことになると思うので、その点も、それぞれしっかりと分析をしてください。
1:14:58	はい。日本原燃のタマウチです。
1:15:01	はい。承知しました。
1:15:04	はい。コサクです。そういったところを上流として整理しないと、この場で混乱しますよっていう1例だと思っていただければと思います。上流整理した結果としてここの部分ですね、縦軸横軸、

1:15:17	どれだけのもので分ける必要があるのか、或いはさ先ほど言った
1:15:23	臨界なり遮へいって言うものは、同一ではなくて別プロセスとして立ち上げた方がいいのかと。
1:15:30	いったことを考えてもらいたいと思います。
1:15:38	はい。日本原燃のタマウチです。はい。再整理させていただきたいと思います。はい。以上です。
1:15:45	古作です。それで言うとう今話をした二つ目のポツ、二つのポツの上のポツも 1.2 S s なので、これとの関係はって言うこともあってですね。
1:16:00	1 水源として漏れた先納期影響と、
1:16:04	いう関係。
1:16:07	だけでここ書いていて、下二つワー
1:16:10	それプラス、溢水したところでの、
1:16:14	ていう。
1:16:17	プールなり、貯層はでもあれか。でも貯層もあれですよ必要な水量が残っているかと。
1:16:24	いう話はあるはずで、そういった視点でのというのはあるような気がするんですけど、そういう理解でいいんですかね。
1:16:36	はい。日本原燃のタマウチです。下二つのスロッシングプールと貯水槽の話は、今おっしゃっていただいた後の話であるというところで、はい。その通りだと思います以上です。
1:16:50	はい、小崎です。わかりました。
1:16:52	念のためですけど、
1:16:55	下から三つ目のポツは、耐震性が間確認されない系統と言ってますけど、そもそも 1.2 S s で期待しない系統なので、
1:17:06	その系統での破損による安全その部分での安全影響って言うのは、そもそも考慮しなくていいと。
1:17:13	いうことだから下二つのポツとは意味合いが違うと。
1:17:17	いうふうに考えればいいんですか。
1:17:29	あ、
1:17:30	変わってはないか。
1:17:33	日本例年か知らないです。すいません被水でB見てるものですがけれども、ここはあくまでも水源という水量の話をしているので、基本的には 1.2 正数地震を起因とした一声という 1 項目でよいかと思います。

1:17:46	その上で、その内数として、
1:17:49	1.2 S s 持たない機器、D というと B C 機器みたいなものと、
1:17:55	当然貯水槽にプールみたいにスロッシングを考慮しなければいけないもの、これらすべてが必要として考慮すべき事項として、
1:18:02	一つとしてまとめられると考えております。ここはあくまでも水源溢水量の話なので、
1:18:09	古作です。それはそうなんですけど、
1:18:14	それはそうなんですけど分けたかった理由ってやっぱりありますよねということをお話してて、言われたように、ここじゃないんですよ。
1:18:23	ここじゃないんですけど、考えた。
1:18:26	ここで現れてきてきましたねということでお話をしてて、今の話の中からじゃあどこでどこで整理すればいいですかねっていうふうにつなげるために質問してます。
1:18:37	はい、理解しました、整理します。
1:18:51	玉木さん、わかってないようなので、
1:18:56	片岡瑛瑠の難しいんですけど、
1:18:59	溢水、
1:19:03	する。
1:19:04	元となる設備について、
1:19:08	下二つは安全機能を何らか維持、
1:19:12	しなきゃいけない設備。
1:19:15	下から三つ目のものは維持しなくていい設備。
1:19:21	機能喪失を想定している設備、
1:19:25	ということで大きく分かれると思いますけどそれでいいですか。
1:19:31	日本原燃タマウチです。すいません。ありがとうございますおっしゃっていただけてる理解の通りだと考えてます。はい。
1:19:39	以上です。
1:19:40	はい。補足です。なので、どれにどれでもう 1 水源としては、一体だけでも、
1:19:50	溢水を評価していく溢水量を評価していくというもとのところで言うと、
1:19:57	先のことだけ評価すればいいものと、
1:20:00	さっきの評価のための、

1:20:02	元としての水源としてのインプットとしての整理に加えて、当該
1:20:10	部分での安全機能についても評価をしなきゃいけないものがあると。
1:20:14	ということで、その公社のものっていうのは、
1:20:19	どこで評価するんですかねっていうのが、先ほどちょっと戻ったところになるんですね。で、今言われたところでいうと、溢水影響評価のところじゃないんじゃないかっていうのが、
1:20:32	D Bの溢水の人のご意見だなんだと思ったんですけど。
1:20:37	どうなりますかね。
1:20:39	今言われなくて、岩井ないならまた検討いただければいいんですけど何かイメージありますか。
1:20:46	日本原燃の瀬川です。これまさにですね、
1:20:51	先週、タマウチちい今野カシワムラと議論していったところでした、
1:20:57	私の感覚的には、その溢水量だけはこの溢水評価書を引用して、個別のプールの説明書だとか、あと貯水槽の場合は設定根拠説明書になるのかもしれないんですけども、
1:21:12	そちら側で、この溢水量の評価結果を呼び込む形で見た結果として、大丈夫大丈夫じゃないと、自分が有するその安全機能に対して影響するしないといったところは、
1:21:23	この溢水評価書じゃないところも個別設備の説明書で述べるべきなんじゃないのというのはまさにやりとりをしてたところでした。はい。
1:21:32	大丈夫ですそれが表現今回されてませんけれども、はい。
1:21:36	はい。補足です。そうする等、それぞれの大本の機能要求にぶら下げていくということになって、その表の機能要求でも、溢水を考えますよ。
1:21:49	その考えとしては溢水評価の方と平仄をとってやりますよと。
1:21:57	ということが述べられ、高良家、溢水量の評価というのも一体で評価ができ、それを使って、
1:22:06	機能影響を説明できると。
1:22:09	ということになるんだと思うので、そういったところの上流もですねしっかりと整理をして説明いただきたいというところです。
1:22:21	はい。日本原燃のタマウチです。
1:22:23	はい。
1:22:25	コメントの趣旨、理解しましたので、そのように整理いたします。はい。以上です。

1:22:31	規制庁のタジリなんですけど、すみません、そもそもこの12ページの2-5-1-2-1で、
1:22:38	1.0。
1:22:39	地震動は書いてないですけど今回整理したら出てくるんですよ。
1:22:45	うん。
1:22:49	はい。日本原燃のタマウチです。上流から整理していくと、1.0というものも出て参ります。はい。以上です。規制庁と自律なんで、Dでやっている地震想定破損消火水その他がベースとしてあってで、
1:23:03	1.0 S sの話もあるんだけど、1.2 S s 1機能維持がかかっているやつに関しては地震動によって解体するものも出てきて、1点ちょっと、どこに来るかわからんけどこれ税込破断っていうのは、想定破損とは、
1:23:19	理屈は一緒なんですかねそれとも明らかにベッドのものとして整理すんですかね。
1:23:29	はい。日本原燃のタマウチです。別の整理で考えておりました。というのは重大事故時に、想定する特有な、
1:23:39	現象であるという理解でありまして、この溢水評価側ですね、想定範囲等は整理してたというところが、現状の整理です。はい。以上です。
1:23:49	規制庁谷井です。衛藤。
1:23:52	これ、ちなみにこの税込は何ですっていうで発生する薬品とか溢水の漏えいがあると思うんですけど、
1:23:59	要はDBの方妥当強度が確保されてるなんたらかんたらでそもそも破損想定しないでも薬品が多かったと思うんですけど、この税込破断の想定の話を持ち込んだ場合、
1:24:10	薬品の漏えい件がたくさん増えた評価を後でやるんですかね。
1:24:21	はい。日本原燃のタマウチです。おっしゃる通り、この腐食性流体、
1:24:28	ですね、全周破断で漏えい、薬品漏えいというのが増えるので、
1:24:32	この評価は、
1:24:33	別途整理するということになります。はい。以上です。
1:24:37	規制庁という別途整理はされるのがわかりてたんすけど
1:24:42	全般統制なんですけど、今日の資料だと、要は右側のところで備考で他条文への展開っていうので、これまで結局DBに何飛ばすのか、こういったところとかどうすんのかって言ったやつが、所々書かれてるのはわかるんですけど、

1:24:55	結局具体的に飛んでくるところがわからないので今上流からやってるので、整理された上で私Dに飛ばす本綺麗になるのかもしれないんですけど、
1:25:04	今週の目標とかに何かS Aから飛んできたものの整理溢水で聞くような話が今日の朝なんか言ってたような気がしたので、これでどう整理されるかなと思って今聞いているんですけど、今、状況としては、
1:25:17	目標って何してるつってましたっけ。
1:25:25	日本原燃カシワムラです。
1:25:27	木曜日は、この十時17を踏まえて、イスイ側に引き渡すものが決まると。
1:25:33	ということになりますので、
1:25:35	ちょっとどこまで出せるかは、進捗、検討しますが、まず目次ベースでこういった項目を、
1:25:43	訂正得意の要求として追加して、
1:25:46	いくのかということをもとめさせていただく。
1:25:49	あとは、今S Aの要求を受けて、
1:25:54	ですね、デービーの方で、水影響に関する評価の方して、6-1-1の6-3なんていうものに対して、
1:26:02	A Bの中身であとS Aのよく受けた中身。
1:26:06	あとは1.2ですねちょっと急なのでそういった、
1:26:10	物、
1:26:11	あと合流後のもの、4段表みたいなものを作っております、それをお示しできれば良いかなと考えておりました。
1:26:17	ただ、ちょっと今日ご指摘受けている状況もありますので、またどこまで出せるかは検討と、あとはスケジュールについても検討させていただければと思います。以上です。
1:26:27	規制庁の田尻です。今、最初の方で言われた目次ぐらいの内容っていうのは今回の表でも今回の十時17でも読めると思ってるんですけど、こっからさらに踏み込んだ4段表なんかだんだん表かわからないんですけど、中身、
1:26:41	は整理されたものを踏まえて、ちょっと今日でちょっと遅れる可能性はあるし溢水の方でも説明しようと思ってるっていうのでまず1回やってみました。

1:26:51	はい。その通りです。
1:26:53	はい。規制庁田尻です。今言われたように少し中身で、具体的に結局何トンできてるのかっていうのがわかりづらいものが多々あるので、そういった点については磯稲葉は、いついたとは仲田と話されながら多分整理されてるんだと思うんですけど。
1:27:08	相互にちゃんと認識合わせていただかないとどちらにも結局書いてないってのが一番よくないと思ってるので、整理よろしくをお願いします。
1:27:18	コサクですけど、話のあった、DBとSAの違いみたいなもので、その前に田尻が言ったように、
1:27:29	SAでも1.0Ssがあると。
1:27:33	ということからすると、
1:27:36	12ページの一番上の36条要求書いてあるところが、
1:27:40	溢水化学薬品漏えい及び火災並びにとあとは、全周破断があったり、1.2Ssがあったりと。
1:27:49	ということなので、個別に立ってますよと。
1:27:52	ということで、個別に立っている一番最初の溢水には1.0Ssがあったり、ということ或いは想定破損があったりと、
1:28:02	ということなので、SAでもDB相当のものは一通りやりますよと。
1:28:07	なんて言って、加えて、なので、それをしっかりと最初からまとめちゃわずに、
1:28:14	それぞれで書くと。
1:28:15	そうすると、DBとの違いってのは当然のことながら見えてくる。
1:28:20	なので、SAからはこれをプラスでやってくれっていうふうに飛ばしますということになると思っているので、このページでの整理をマトリクスでやってくれというふうに申し上げます。
1:28:36	はい。日本原燃のタマウチです。はい。よく理解しましたので
1:28:43	はい、エスエー
1:28:44	DBSAのDB外のことをやって、SA特有のところは加えて何かというところが、ちゃんと
1:28:52	上流から見えるように整理したいと思いますので、
1:28:55	はい、お願いします以上です。
1:28:59	規制庁、志水です。当間今のその上流からの整理っていうところをやっていたいただければ見えてくるとは思うんですけども。

1:29:08	ちょっとアクセスルートに関して確認させていただきたいんですが、
1:29:14	清の方で、
1:29:16	2点。
1:29:18	5.1. 2.2 の企画及び経路の設定のところでアクセスルートは、アクセシ 性及び操作性の観点で、評価対象ってということでここで、
1:29:29	挙げられてるんですけども、そもそも上流の基本方針 2.5. 1 の基本方針 のところで、
1:29:38	当体制設備は、位置的分散または防護により機能喪失しない設計とする っていう、その S s - D のかかれてるんですけど、この基本方針のとこ ろで、
1:29:52	S A においてアクセスルートも
1:29:55	一斉対処ってところで多分必要な、
1:29:59	ところになると思うんですけども、そういったそのアクセスルートも、
1:30:04	に関して基本方針で何も述べなくていいのかとかってその点いかがでし ょうか。
1:30:17	はい。日本原燃のタマウチです
1:30:20	アクセスルートに関する方針については、違ったすいません操作性のと ころで、そのアクセスルート、
1:30:29	しっかり確保しますという。
1:30:32	方針を述べておまして、そこで、設計条件自体は書かれているという ふうに認識しております具体的には、
1:30:42	79 ページをご覧になっていただければと思います。
1:30:51	79 ページの
1:30:54	これ操作性の表になるんですけども、
1:30:58	そこのですね、
1:30:59	14 番ですね No.14 というところで、アクセスルトは、
1:31:03	いろいろ書いてますが溢水、
1:31:07	を考慮しても、
1:31:09	渡せると確保しますということでこちらに設計方針が述べられていま す。はい。以上です。子育てですタマウチさんそれだと説明が完結して ないのを理解して欲しいんですけど。
1:31:21	ここで書いてます異常じゃ評価に繋がらないじゃないですか。

1:31:25	ここに書いた上で、どういうふうに評価につなげていってるんですかという、ひもづけを説明しなきゃいけないんですよ。
1:31:33	その紐づけ、結局そ、今話をしていたところまでたどり着いてないですよね。
1:31:41	どうなってます。
1:31:47	はい。日本原燃のタマウチです。
1:31:50	そうですね紐付けはちょっと今、十分に見えないので、
1:31:56	はい。すみません。見るべきですので、ちょっとそういったところはどうですかね、
1:32:04	ちょっと再整理させていただきます。はい。以上です。はい。工作です。なので、これも原燃らしさが出てるんですけど、形式的に紐付けをやりましたと言ってるだけで本来やりたい目的。
1:32:17	を達成してないのを理解してないっていうのは、根本的な問題なんですよ。
1:32:23	設計方針結構いろいろな要求がある中、それぞれ上げていってそれを最終的に評価とは統合しているはずで、
1:32:32	その関係性を理解してないから上流で何をすべきかがわからない。
1:32:37	何となくやってこれでいいんじゃないですかねみたいな感じになってることなので、ちゃんと紐付けをして、何のためにやってるのか、それは何のためには一つではないので、
1:32:48	どういう項目があるのかそれぞれについて対応できてるのかと。
1:32:52	ということがしっかりと評価できるようにしてください。よろしくお願ひします。
1:33:00	はい。日本原燃のタマウチです。はい。申し訳ございません。しっかり上流の要求からですね、
1:33:07	評価結果繋がるまで整理をさせていただきたいと思います。はい。以上です。
1:33:14	規制庁、清水ですと、ちょっと
1:33:18	件に関して、このDのところで、個別のヒアリングで聞いた方がいいかもしれないですちょっと確認したいんですけども、あの日、DBにおいてもそのアクセス通路部っていうのが

1:33:30	架空経路の設定のところであんなところを評価対象として選定し、 選びますよっていうところが出てくるんですけども、DBの以前溢水の ヒアリングに於いて、DBはそのアクセス数
1:33:46	しなくても、遠隔操作なので等で安全機能を維持できるってような 説明もあったんと思うんですが、
1:33:55	DBにおいてはそのアクセス通路部、
1:33:59	実際には一世を発生する区画を特定するところ、
1:34:04	するためには、通路部や隔離操作が必要な設備がある、通路部っていう ところであんなに書かれてるんですけど、ここの辺はその案DBにおいて安全評 価上必要なものなんですかねそれとも
1:34:18	特にそういったアクセスしなくても安全機能は維持できる。
1:34:22	ものなんでしょうか。
1:34:33	はい。
1:34:34	日本原燃カシワムラです。
1:34:39	今の点はですねちょっと整理して、再度ご説明させていただきたいと思 います。
1:34:45	はい。
1:34:46	わかりました。
1:34:47	何か以前の説明だとDBは遠隔操作できるから特にアクセスしなくても って話、もう一度
1:34:55	滝がするので、ちょっと、
1:34:58	SAとの違いがするところもあるのかなと思ったんですけどまた整理し て、
1:35:02	あと次のどこかのヒアリングで確認できれば、
1:35:06	と思いますのでお願いします。
1:35:11	はい、承知いたしました。
1:35:15	と規制庁タカナシですすみません
1:35:19	ちょっと話題がありますけれども、通し10ページのところ、
1:35:25	No.8、これ1例ですけど、
1:35:28	この相撲1回整理全体的に整理しないということなんでその時になるか とは思いますが、例えば今言ったNo.8のところとかで、このS SA会社でも抜き出して、

1:35:39	やっぱりいろいろ文書から書いてますけれども、土地のところで上記以外とかそういう形で今どこ、どういう関係でこういう会社の関係性がちょっと見えなくなっているところが、
1:35:49	あたりしますのでそういうところは整理するときにですね。
1:35:52	どの部分どういう動向抜き出すのかという関係がわからなくなるようにちょっと整理をしていただくように、
1:35:58	お願いします。
1:36:03	はい。日本原燃タマウチです。はい申し訳ございませんこれ。
1:36:08	こういったよくわからないところがないように整理させていただきます すいません。はい。以上です。
1:36:25	規制庁の大橋ですけれども、ちょっと確認なんですけれども、7 ページ目の右上に、何か 1428、40 はその欠番としていますというふうな
1:36:37	ことが書いてあるんですけれども、一方で、
1:36:43	9 ページ、2 とかを見ると、9 ページのNo.6 とかを見るとそのNo.14 に飛ばしてるような場所もあったりとかして、そのNo.14 とか見えないとちょっと、
1:36:55	完結してない気がするんですけれども。
1:36:58	いかがでしょうか。
1:37:04	はい。日本原燃のタマウチです。
1:37:06	すいませんこちらですねまず現状から申し上げますと、ナンバーすいません 94 とか 2840 はですね詳細は環境条件に示しますとか、
1:37:16	そういうと呼び込みの行になってたんですね。
1:37:21	なので、設計条件としての発足のはふさわしくないなと思ひまして、消しましたという。
1:37:28	これですんで、
1:37:29	ナンバーを変えて、読み込み番号の変更に行くと、ミスの原因になるので、ちょっと今回欠番という扱いにさせて作らせていただきましたと。
1:37:39	というのがまず状況です。で、
1:37:42	そうですねこの 6 番については、
1:37:46	具体的にですね、この厳しい条件の
1:37:50	中での体制はどこに示しているかっていうところで、環境条件に書いてますよっていうところが繋がっていたので、14 と呼んでいたんですけれども、

1:37:59	ここですね、こういったところはすみませんちょっと再整理させていただければと思います。はい。以上です。
1:38:06	はい。よろしくお願いします。
1:38:11	あと
1:38:14	32 ページですけれども、
1:38:17	整理される。
1:38:19	ような気はするんですけれども、32 ページの、
1:38:24	右から 2 列目のその備考のところ、S A 特有の記載、設計方針であると赤池あるんですけれどもこの辺は、一番初めの例のところ赤字は、
1:38:36	清特有というふうなことを説明したので何か、
1:38:39	特別ここで抜き出して限り等とかちょっとわからなかったんですけれども。
1:38:46	江藤。
1:38:51	例えば、
1:38:54	そうですね。
1:38:56	6 ページ目の記載でも赤字はこういう意味でっていうふうに書いてあるので、その 32 ページわざわざ書かなくてもいいと思ったんですけど。
1:39:03	いかがでしょう。
1:39:06	すみませんコサクです。ちょっと今、どこの指摘の何で、どういう意図なのかが、
1:39:12	わからなかった。
1:39:13	丹です。あとどれですか。すみません。えっとですね。いや、
1:39:25	32 ページ、はい。32 ページの、
1:39:30	右から 2 列目の備考のところの一番下の一番下の記載で、清特有の設計方針であるっていうふうな記載があります。
1:39:41	古作です。
1:39:45	よ、この欄自体がよくわからなくてですね。はい。何を書くところなんだと。
1:39:51	ということなんですけど。
1:39:56	D B との関係で一番右の欄他条文への展開と、
1:40:01	いうのを、
1:40:04	明確にしたいという、
1:40:07	のが一番の目的だったと思います。

1:40:10	で、その上
1:40:12	今話のあったその隣列っているのは、
1:40:17	その手前で
1:40:19	縦軸に展開をしていっているというところの関係性を明確にするっていうのが、
1:40:27	大本の欄の目的だったと思うんですけど。
1:40:32	そうでないものがいっぱい書いてあって、図に示すとかですね、いうのもあったり、
1:40:38	いろんなことが書かれてるんですけど、これって何がしたいんですか。
1:40:43	その上で今大橋が言った指摘の部分で、何がしたいんですか。
1:40:51	はい。日本原燃のタマウチです。右から2列目の、
1:40:57	項目の意図はですね。
1:40:58	田坂さんにおっしゃっていただいた通り、縦の繋がりをCSがまず基本的な書く内容ということで、
1:41:07	考えています。
1:41:09	はい。それで、そういう趣旨でいくと、ちょっと構造図に示すですとか、そういう、
1:41:16	フローの仕方っていうのは適切だったなというところで整理をし直さなければならぬと感じております。
1:41:22	その上で、今のですね、ご指摘あった、
1:41:26	SA特有の設計方針であり、ここはですね、これは縦の繋がりで、そのちょうど2ポツ2ポツ3ポツにですね対象設備の選定がありますよというたてを書きたかったんですが、
1:41:37	制度系の設計方針という文言自体はですねこれは不要な情報ということになっておりますので、
1:41:45	今回のすいませんちょっと整理の中で、しっかり、
1:41:48	精査させていただければと思います。はい。以上です。
1:41:53	日本原燃の助川です。ちょっとだけ補足をさせてください。32ページの下三つ、下から三つ目は一応隣の郡飛ばしてるんで意味合いとしてはあってもいいのかなとは思いますが、
1:42:06	二つはですね右側の、
1:42:08	パッキングしているところで、この方針はもうペーパーに引き継ぐんだというようなところ言えますので、まずこの、

1:42:16	ちっ発のフレーズはない。
1:42:19	いらぬ情報です。
1:42:20	もう一つですね四角囲いの1なんですけれども、
1:42:24	このビーカ2番以降は、高校の見解も、補足説明ですね、なっているというのは今、濱口が申し上げた通りなんです、
1:42:36	方針を述べて、何かそこで終わってないかと言うような、その先はないのと、
1:42:43	いふようなところで、疑義が生じるのも、何かおかしい話でしょうといふので、ここでこうさせるものに対しては、各学校で囲んでいこうかといふような話をしました。この方針を受けて具体的に、
1:42:55	その先の展開がなければ、後は、設計としての具体例を示す構造となる配置図で具体性を示すという結論になる部分に対してはこの資格が雇用して、
1:43:06	で、この資格のないものについては、その先があると。
1:43:11	丁寧に取り渡されたり、他の縦のどっかに展開される。そんな整理にしようねといふことでこんな作業をしました以上です。
1:43:22	はい。コサクです。
1:43:28	その趣旨は輪っかりました。
1:43:34	が、
1:43:35	その四角囲みの上を見ても、
1:43:39	そ、そのように書いてあるかどうかともわからないと、いふ感じなんですけど。
1:43:46	この二つの日、
1:43:50	多分なるんじゃないな、
1:43:52	空気を開きつつ、最初の2行とそのあと、5行。
1:43:58	4行と段落書いてますけどこれどういふ、
1:44:02	ことですか。
1:44:11	はい日本原燃のタマウチです。No.6の
1:44:15	備考欄の、
1:44:17	5行と4行といふところで、竜巻のところといふことで理解しておりますけれども、
1:44:23	ですね。

1:44:28	はい県書類への飛ばしですとかそういう意味でいうと、趣旨からちょっと異なるところが上の5行になってますのでこれはすいませんということと、
1:44:39	あと下の4行については、これも縦の繋がりをちょっと示すということで書かせていただいて、
1:44:47	おりました。
1:44:48	はい。
1:44:49	古作です。それで言うと、さっきは業番号で飛ばしてましたけど、これは自分の業の中下の欄のところまで全部対応してますだとか、
1:45:02	四角囲みの下でいくと、一つの欄の中の、
1:45:09	書いてある番号のところまで展開をしたりということで、
1:45:18	確か2たて向きに下の方を呼び込んでいるということではあるものの、呼び込み先のレベル感がそれぞれ違うと。
1:45:27	ということですかね。
1:45:31	日本原燃タマウチです。すいませんちょっと、そうですねちょっと呼び込みのレベル感が違いますってところをちょっとさっき説明しません間違えまして、
1:45:40	この真ん中の列のところ、竜巻については、個別説明と、あとこの服の1-1-4-2-1というところで、
1:45:50	田巻の説明書で2個に分けてる。
1:45:52	一応、理由を書いたところなんですけれども。
1:45:55	おっしゃる通りちょっと、
1:45:58	そうですねレベル感が違うというところではあるので、
1:46:02	そこもご指摘いただいた整理の仕方をですねする際に、
1:46:07	精査してわかるようにしたいと考えております。
1:46:11	はい。以上です。
1:46:16	はい。古作です。見やすいようにしといてください。
1:46:21	それで元に戻す等、基本的には関連性を書き、そこでストップするものについては四角囲みをすると。
1:46:30	ということで、そうすると下二つについては、DB側に飛ばすということだから、余計な記載でしたと。
1:46:40	ということなんですけど、DBにただ飛ばすということじゃなくて、
1:46:46	S A特有の事象としてプラスになりますよと。

1:46:51	いうことは、
1:46:54	右の欄に書くんですかね。
1:47:00	はい。日本原燃のタマウチです。はい。S A特有としてプラスという事項は右の欄に書く整理になると思います。はい。以上です。はい、古作です。その上で、何が特有なんだと。
1:47:13	Dのどこに飛ばすのか。
1:47:16	何、どういうD Bとの関係になるのかっていうのがわかるように書いてもらわないと。
1:47:21	D Bはどう受ければいいんだよっていうことにしかならないんだと思うんですよね。
1:47:26	そのあたりも前回話したと思うんですけど。
1:47:29	認識できてないのは何ですかね。
1:47:38	コサクですちょっと言い方が悪かったかもしれませんね。
1:47:42	下から二つ目でいうと評価対象の選定結果をって書いてあるのは、D Bの対評価対象の選定している場所によっていう意味で書いてるってことです。
1:47:58	はい。日本原燃のタマウチです。
1:48:01	ここの意図してたところは、
1:48:04	S Aとしてですね、
1:48:07	守る、竜巻から守るべき設備というものを、
1:48:11	選んで、それをD Bに引き渡して評価をしてもらうという伊藤でした。
1:48:16	古作です。それだとやっぱり駄目で、
1:48:19	Dのどこに合流させるつもりなのかっていうことを書いてくれということに回答してないってことなので、よく考えてください。
1:48:31	はい。日本原燃のタマウチです。はい。すいません。ちょっとそこ反映できてなくて、
1:48:36	申し訳ございません。
1:48:37	しっかり対応させていただきたいと思います。はい。以上です。はい、古作です。それでですね、ここ本当かと思ってて、
1:48:45	木場食って、
1:48:46	D Bでもやると思うんですよ。
1:48:49	安全機能を有する施設、特に安重じゃないと思いますけど、
1:48:54	安全機能を有する施設のうち、さらに薦野だったりした場合には、

1:49:01	評価対象ではないので、表には出てこないんだけど、もろもろあるものは固縛するんだと思うんですね。
1:49:09	実用炉で言えば、側溝のふたとかですね。
1:49:13	ていうのを飛ばないようにしますとかやってたわけですよ。
1:49:16	そういうのってなくてS A特有っていきなり言うんですかね。
1:49:30	日本原燃の瀬川ですご指摘の、岡崎さんのご指摘の内容は重々私も認識していたんですけども、
1:49:40	デービー側のその固縛の評価と、S A側のその鼓膜の評価、グレードが違うと言ったらいいんでしょうか。
1:49:49	コサクです。グレードは違うんですよ。ですけど、そもそももうD Bの方は、S A設備がD B設備を壊さないようにという意味でも、
1:50:01	固縛の対象になるんじゃないですか。一方で、S Aの固縛があるから、
1:50:06	D Bの固縛の評価をしなくても済むと。
1:50:10	いうことであって、設計方針としては何らかの繋がりがあるんだと思うんですけど、
1:50:17	はい。もうおっしゃっていただいた通りですね、まさにその通りだと思いましたが、ちょっと表現も含めて工夫いたします。
1:50:26	はい。補足です。そこに合流して行って、その合流したところでグレード分けがあって、ここはこういう対応でここがこういう対応でというところで整理がつくんだろうと思います。そうすると、
1:50:38	S Aの固縛の方法というのはS Aとしてやるものになってというふうには結局はなるんだと思いますけど、ちょっと乱暴かなというふうに思っています。よろしくお願いします。
1:50:51	日本原電の瀬川で承知いたしました。
1:50:59	規制庁清水です。ちょっと溢水の話に戻って申し訳ないんですけども、
1:51:05	ちょっと状況の確認までなんですけど13 ペイジーの2 ポツ、5 ポツ2、重大事故対処設備の選定っていうところで、
1:51:17	選定結果をD Bに引き渡して評価するっていうことが書かれてるんですけども、対処し、
1:51:24	その防護対象の選定はイスイ側で、今日出されたスケジュールだと29日にし、李S Eも含めて提示っていうことで書かれてて、
1:51:33	この選定の作業はS F A Mをd t分終わってるっていう認識でよろしいでしょうか。

1:51:45	原燃カシワムラです。選定が今実施中です。29 日に出させていただきたいと考えておったのは、
1:51:53	戸部リーダーの
1:51:55	ウェアライン等の抜けがあったことを踏まえて、改めて安全機能と対比を整理して、
1:52:01	評価対象設備の選定を、
1:52:04	整理しております。その考え方についてはDBもSAも同じなので、その評価対象設備の選定方針について29日にさせていただきたいと考えておりました。以上です。
1:52:15	はい。規制庁清水です。まだ作業中で結果じゃなくて、様々な考え方、これまでヒアリングで口頭で聞いてるとは思うんですけども、
1:52:27	考え方を示されるってということで、了解しました。
1:52:31	規制庁の田尻です。すいません。結果は結局いつ出てくんでしたっけ。
1:52:47	これだけと。
1:52:54	はい。規制庁田尻です。日本原燃の嶋村です。
1:52:59	本日のアサカイ資料でもお示しさせていただいておりますが、4月の第1週を目指して進めておる状況です。
1:53:08	コサクです4月の来週で来週だと思うんですけど、
1:53:12	どうなってます。
1:53:19	まだ具体日付をいえる状況にございませんので、改めて整理させて、そのスケジュールについて具体化させていただきたいと思い
1:53:29	はい。規制庁の田尻です。
1:53:32	うん。何ともこれ以上言いがたいところではあるんですけど朝のヒアリングでも伝えたんですけど開口がもあって会合ありきでっていう話でもないんですけど、
1:53:43	今こういったスケジュール感なのかってのがちょっと掴みづらいところがあるので、資料を出したら一発でっていうもんでも今までのことを考えてないような気もするので、スケジュール感等について、詳細なものについて今後示していただければと思うんでよろしくお願いします。
1:53:59	コサクですちょっと話戻しちゃうんですけど、12 ページで、大分前にそのアクセスルートの話が、
1:54:06	あったんですが、今書いてあるのが2-5-1-2-2という区画経路って話になってて、

1:54:15	評価対象じゃないんですね。
1:54:19	でも、足助アクセスルートとしての、
1:54:22	機能、
1:54:24	作業性と、
1:54:25	いう評価項目である以上、
1:54:29	ここに書くのは変な気がするんですけど、何でこうなってますか。
1:54:38	ここに書いてあるセガワ、
1:54:39	経路としてもありますというのは別に構わないんですけど、
1:54:47	はい。
1:54:48	ですね、まず、この 25122 とかってこの立て付け自体が、溢水のデービー側の溢水の、
1:54:58	説明書を参考に立て付け考えてしまっていて、どっかに溶かし込まなきゃいけないと。
1:55:04	いう先入観で、ここに整理してるってのがまず実態でございます。コサクさんご指摘された通りですね価格の、その評価対象とは別物だというのはご指摘の通りですので、
1:55:17	若人こだわらずに項目を一つされてるっていうのもありかなと思いますのでちょっと再整理させていただきます。以上です。
1:55:25	はい、古作です。先ほどマトリクス改定というお話をさせていただいたところで、アクセスルートは一つ立ち上げるしかないんだらうなど。
1:55:34	思いますのでそうするとおのずと上がってくるとは思いますが整理よろしくをお願いします
1:55:43	正直ました。
1:55:47	うん。
1:55:48	その他、規制庁側から質問ある方いらっしゃいますでしょうか。
1:55:58	ないようですので最後に原燃側から振り返りと今後のスケジュール。
1:56:03	でも、もう、
1:56:12	はい。日本原燃のタマウチです。まず振り返りですけども、十時 17 に関しましては、上流 36 条要求の上流からのですね記載の整理、
1:56:26	というのが、今見えてございませんと。
1:56:29	この定義ございましたので、その一つ目の表として、最上流型の要求事項は何かというものを作りましてさらに、

1:56:39	その最小量の要求事項の表からですね、引き継ぐべきことを個別の設備展開していく。
1:56:45	というような形で整理をし直させていただきたいと思います。
1:56:49	姿勢に関しても、ご指摘いただきましたけれども、
1:56:54	そのマトリックスを作ってですね、しっかりSALPのファイルは何かあってプラスアルファでSNLことは何かというところが、
1:57:03	見えるように、再整理させていただきたいと思います。
1:57:07	で、来いただいたご指摘を他のえーとですね。
1:57:12	要求についてもですね、展開していくということになります。
1:57:16	スケジュールなんともう、まずですね、私、ちょっと聞いてて思ったところは、
1:57:23	今ご指摘いただいた整理の仕方というものをですね、一度、
1:57:27	そのまま1キムラ3なり何か一つをちょっと例にとらせていただいて、
1:57:31	こういう設計条件も整理をしていきます。
1:57:34	これを、
1:57:35	まず1回させていただきたいなと思ってまして。
1:57:37	それを、
1:57:43	この週今週金曜日ぐらいまでには1回指導させていただいて、
1:57:51	あと何かね。はい。今週金曜日はちょっと遅い、遅くて、
1:57:56	何かを例示にちょっとまとめ方の方向性確認というのは、ぜひやらせていただきたいんですけど。
1:58:03	それはちょっと至近に、
1:58:06	チキンに、
1:58:08	やりたいです。
1:58:10	至近に、さっきのマトリックスと阿藤36条の上からの
1:58:15	展開の紐づけていうのですね、条例からちゃんと流れてるかっていうのがちゃんと見えるような形にするっていう部分は、これちょっと、
1:58:24	何だろう、明日とかやりたいぐらいだけど、
1:58:29	まずご意見いただいいただくっていう観点でいけば、
1:58:34	パーフェクトのものじゃなくても1回SOAした、明日朝ミーティングってあるんですけど。
1:58:40	はい。
1:58:41	明後日、

1:58:44	明後日バサミーティングで、ちょっと規制庁コサクですけど、朝ミーティングをやるかどうかは今日夕方のラップアップで話をするした、ああしました。
1:58:54	明日のラップで話をするということになってて、明日については会合前なのでということで、
1:59:01	予定してない。
1:59:02	でしたかね。
1:59:04	いうところですね。
1:59:09	はい。日本原電の瀬川です。朝ミーティングがなくなるっていうのはちょっと辛いところではあったんですが、すみません私ちょっと先週で休んでたものちょっと状況把握してなくてすみませんでした。
1:59:19	いずれにしてもですね、数には1回、そのまとめ方の方向性の資料だけ提示させていただいて、スケジュールヒアリングさせていただいて、
1:59:30	スケジュールヒアリングは、こういった形でやるかってのちょっと別途調整させてください。はい。以上です。
1:59:38	はい。補足です個別のヒアリングをショートでやることは別に構わないので、適宜設定いただければ、
1:59:47	設定というか調整していただければいいかと思います。
1:59:53	はい、よろしくお願いします。
2:00:02	それは振り替えのほどありがとうございました。その他、コメントある方いらっしゃいますでしょうか規制庁側から。
2:00:14	ないようですので、最後に元規制庁側から連絡事項等ございますでしょうか。
2:00:24	ないようですので、よろしければ本日のヒアリングを終了します。
2:00:28	本庁が録音してください。